

令和2年度第2回相楽東部広域連合総合教育会議 会議録

1日 時 令和3年3月19日（金）午後1時30分～3時00分

2場 所 和東町体験交流センター 会議室

3出席者 広域連合長 平沼 和彦
副広域連合長 堀 忠雄
副広域連合長 中 淳志
教育長 西本 吉生
教育長職務代理 石橋 常男
教育委員 村田 年宏
教育委員 上村 恵子
教育委員 植田 宏和

4傍聴人 なし

5議 事

(1) 開会

司 会 大西事務局長

(2) 広域連合長あいさつ

平沼 広域連合長

相楽東部広域連合総合教育会議設置要綱第4条に基づき、広域連合長が会議の議長として以下の議事について進行を行った。

(3) 教育に関する「大綱」について

教育長が資料1に基づき、教育に関する「大綱」の改定の趣旨、内容等について説明を行った。
質疑等の結果、大綱案については、異議なく承認された。

<主な質疑・意見交換>

○副連合長

文化振興と文化財の保存・継承・活用については、マンパワーがないと進んでいかないと
思う。専門的な知見を持った方が必要になってくる。

○教育長

文化財関係については、教育委員会には専門家はいないので、職員が勉強しながら、業
務を行っている。和東町史編纂室に専門員もいるので、直接でないが、関わりを持っても
らっている。

○副連合長

3町村には自然が残っており、興味深い伝統行事があり、そうしたところに児童・生徒が

見学に行ったり、参加したりすることで、郷土愛を持つのではないかと考える。

(4) 令和3年度「連合の教育」重点的取組について

〔 教育長から資料2に基づき、説明があり、意見交換を行った 〕

<主な質疑・意見交換>

○副連合長

社会教育について3町村で事業を行うことも必要ではないか。連合で教育委員会を一つにしてやってきており、どこかでやらなかったら、いつまで3町村毎にという話になる。

○教育長

3町村それぞれの地域事情等もあり、難しいところもある。まとめられるところはできるだけまとめる方向で考えている。

○副連合長

行事を一緒にやることも大事であるが、その考え方を一つにしていくことが大事である。

○副連合長

教育や子育て施策については、他の自治体に比べて負けていないが、情報発信ができていないところがある。

○連合長

どのような教育を行っているかということを見て、移住・定住するかを決められることが多い。

○教育委員

地域とともに教育を進めることがどんどん浸透してきており、学校の教育の3本柱の一つである学校運営協議会、地域学校協働活動のもとに「地域とともにある学校」のところに10年間の積み重ねの成果として集約されている。

○副連合長

そうした取組を周知することが必要。

○教育委員

他から見ると、小さいから出来たと思われるかも知れないが、何十年もの積み重ねがふるさと学習と地域を結び付けている。

○教育委員

小小連携により、他の小学校の児童とつながりが出てきている。こうしたことは3町村での連合であつてのことであると思う。

○副連合長

この小小連携は相楽東部だからできること。

○連合長

統一試験や学力テストの成績について、3校全体でどれ位の順位か分かればよいと思うが。

○教育長

それぞれの学校で成績のデータを持っている。連合全体で合わせれば、どの位にいるかということを出せなくはないが、テストの趣旨は、順位ではなく、全体の学力を見るというものである。

○教育委員

子どもたちが少なくなり、保護者も少なくなっている。そうしたことから、住民に教育の情報が伝わらなくなっている。

○連合長

昔は運動会は地域の住民と一体となり行っていた。地域みんながこぞって運動会に参加し、街の運動会みたいなものであった。こうした習慣も無くなってきていることも原因の一つではないか。